

さんき



—発行H27年12月No. 227—
 ☎061-8072 熊本市北区室園町 20-40
 TEL096-346-3323 fax096-346-3610
 児童発達支援センター 三気の家
 e-mail non.kon.gen@titan.ocn.ne.jp

『ABCで考える“困った”行動への対応』

子ども達が示す“困った”行動の理由や、行動への対応がわからず途方に暮れてしまったことは、子どもを育てる親御さんであれば誰しも経験があると思います。特に発達障がい特性を持つお子さんは、行動の理由がユニークで、それを周囲が推測することが難しいことが多いため、適切な対応に結びつきにくいと考えられます。

今回の学習会では、こうした困った行動への対応を考える思考のツールとして、「行動分析学」と呼ばれる考え方についてご紹介しします。療育の分野では応用行動分析(ABA)と呼ばれ、療育法の一つとして有名ですが、単に療育の一技法としてではなく、その背景にある考え方の枠組みにこそ、育児や教育を考える強力なヒントが隠されています。熊本でも実践が広まってきているペアレント・トレーニングにはこの行動分析学の考え方が活かされています。

子ども達の“困った”行動の理由を、子どもの中にあるもの(たとえば障がい特性、性格、やる気など)だけに求めようとすると、それが変わらなければ問題は解決しないことになります。行動分析学では、行動の理由を常に子どもと環境(特に周囲の人たち)とのやり取り(相互作用)に中にとらえ、変えられるところを見つけ、やり取りのパターンを変えていくことで問題を解決していこうとします。また、その際に罰などの嫌悪的な手段をなるべく用いない方法を目指すことも特徴です。私は、問題を子どもだけのせいにはしないこの考え方のスタンスを実際の有効性に大きな魅力を感じてきました。

短い時間の中ですべてをお伝えすることは難しいですが、今後の学習を深めていただくきっかけとして、また、今後の育児のヒントとして、この考え方のコツと魅力をご紹介できればと思います。

☆ファミリー学習会☆

- ◆テーマ : 『ABCで考える“困った”行動への対応』
- ◆日時 : 平成27年12月10日(木) 午前9時50分~11時50分
- ◆場所 : 清水公民館 2階 第1研修室
清水亀井町14-7(清水総合出張所内) TEL096-343-9163
- ◆講師 : 言語聴覚士 田代 裕一郎先生(熊本市子ども発達支援センター)

☆ ありがとうございます ☆

- ◆動作勉強会 : 森 芳輝様
- ◆療育ボランティア : 児玉 静子様
鳥居 世奈様
- ◆おはぎ寄付 : 株式会社 ヒライ様



【パパと目標達成したよ】

11月7日に父子ハイキングを行ないました。前日までは天気が心配でしたが、皆さんの願いも叶ってか、当日は清々しいハイキング日和となりました。朝は、登園してから30分程度親子タイムをしました。お母さんから事前にお話があったのか、どのお父さん方も子どもさんとしっかり向き合ってそれぞれの取り組みを行なわれていました。その後、お父さん方は「歩き」についての簡単な講義を聞いていただき、その後、年長グループと年中以下グループに分かれて立田山へ出発しました。

年長グループは、山頂を目指して歩きました。日頃歩き慣れていないお父さんもいましたが、子ども達は日々の取り組みの成果を見せるかのように、一緒に手を繋いで元気良く登っていました。

年中以下グループは、緩やかな道を歩き、お祭り広場を目指しました。「こんなコースがあったんですね」と驚かれる方も多くいました。手つなぎを目標とされている方が多く、それぞれに声かけをしたり、リュックの紐を持たせたりとやりとりを深められていました。

今回は、ハイキングだけでなく、お父さん同士の交流を深めることも大切な目的としました。給食後の茶話会では、感想だけでなく、日頃の子育てについてや兄弟についての話題、就学に向けてのお話が深められていました。日常では、お父さん同士で話し合う機会は少ないと思います。今回をきっかけに今後もお父さん同士の交流も深められると嬉しいです。お父さん方、お休みのところ、本当にお疲れ様でした。



【合宿、また行きたいな！】

今年度2回目の合宿が11月19日と20日にありました。初日は、託麻三山の一つの小山上に登りました。木組みの階段が続きますが、比較的緩やかなコースでみんな登りやすかったようです。今年も11月でも暖かく、当日も登山にはとても良い気候でした。

登山の後、運動公園で食べるお母さん手作りのお弁当は、みんな残さず完食し、その後、草スキーを楽しみました。経験のない子は怖がる様子もありましたが、そりに乗るだけ等少しだけチャレンジをしました。たくさん遊んで楽しんだ後、園に帰っておやつと製作(でんでん太鼓)をして過ごしました。

その後、城の湯での温泉と夕食を楽しみました。どの子も大きなお風呂がとても楽しみだったようで、ジャグジーのお風呂に驚きつつも気持ちよさそうに入っていました。年中のY君は、合宿に向けて洗面を練習してきました。手に水をすくえないなどの難しさはありますが、日頃の頑張りを発揮してくれて嬉しかったです。しっかり歩いて、温泉でリラックスすることで夜はみんなぐっすりと眠りました。

2日目は、阿蘇ミルク牧場に行きました。連日天候に恵まれ、3グループに分かれてそれぞれ楽しく過ごしました。動物ふれあいコーナーでは、身の丈ほどある大きな犬やヤギに囲まれ驚く子や恐れずに触りに行く子など様々で新たな発見があり、動物のレースやトラクターバスに乗ったことなど、保護者の皆さんへの土産話がたくさん出来ました。

合宿終了後、「もう一回合宿したい!」とお母さんに伝えてくれた子ども居るようです。今回の経験を機に、ご家族でもお出掛けしてみてください。



地域療育支援事業のお知らせ

☆個別療育相談は、随時、お受けします。電話で予約して下さい。(午後3時より)

【集団療育】

- ハッピークラブ : 12月 2日(水)
- ◆ラッキークラブ① : 12月16日(水)
- ◆ラッキークラブ② : 12月24日(木)
- ☑欠席される方は、必ずご連絡下さい。

【作業】

- ◆作業 : 12月 9日(水)
- ・時間 : 午後3時45分~4時45分
- ・対象 : 高学年、中高生
- ☑欠席される方は、ご連絡下さい。

